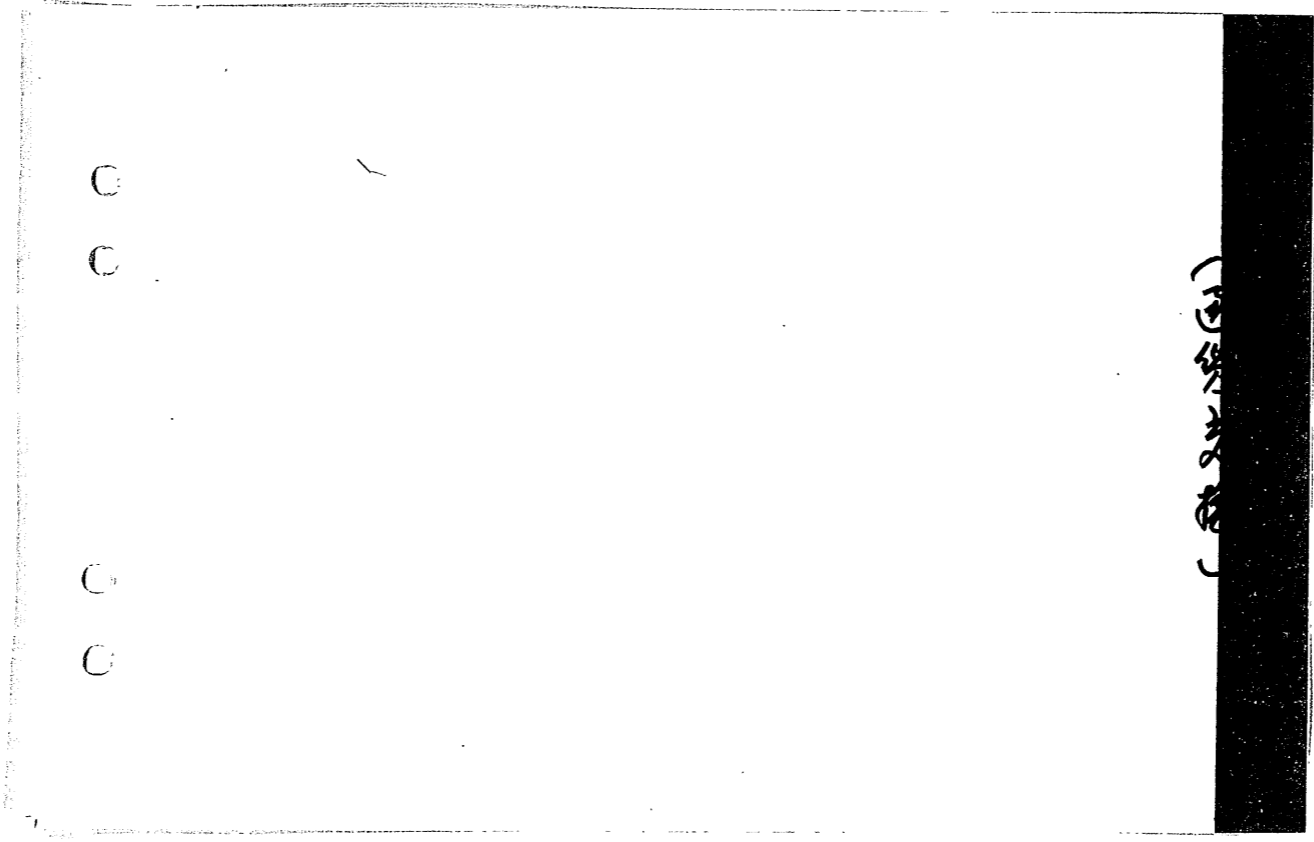


琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 通貨交換問題（要請・決議）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): ドル防衛, 変動相場制, 308円, 琉球政府, 立法院, 外務大臣, 360円, 円通貨切換, 陳情 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43687

早立法院判決の要清
（通判文庫）



(15) 2024

大臣秘書官

200-21

アメリカ局長

参事官

条約課長

安全保障課長

北米第一課長

星 立法院議長他の外務大臣訪内申入れ

について

46. 12. 20
北米第一課

琉球政府東京事務所 嶋本総務課員より、沖縄
関係法案につき要請のため上京中 (12月17日付22日記)

の星立法院議長他は、沖縄の通貨交換につき要請す
るため外務大臣を訪問したい意向のあり。その交

現方につき当課のあつ旋を依頼越した。一行の既
(これも自民党)及び訪問申入れ先等次のとおり。

星 克 (用長)	訪内申入れ先
桑江朝	総理
森島明秀	総務長官
上原重蔵	大蔵大臣 (12月20日付24日見)
平良一男	農林大臣
上江洲安健	参議院協賛 沖縄県知事

GA-6

外務省

大臣秘書官

202 (23)

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

大臣 12/24. 12:30 17:10 会内 (大臣)

面会

琉球立法院議員団の沖縄ドル問題に

関する陳情について

46. 12. 22
北米第一課

琉球政府東京事務所 (総務課 嶋本氏) より、本件
陳情団は 明23日夕刻上京 (26日午後帰沖予定) 結

理を始め閣僚大臣、国会等に対し陳情するに3.
外務大臣に御引見したい旨のよう当課のあ

旋を依頼越した。嶋本氏に拠る琉球立法院は
本22日午後 沖縄の通貨切替に關する本土政
(即時)

府に持する要請を決議し、同議員団が決議
文を携行上京する由である。議員団(各次のとおり)。

星 克 (自)	平良幸市 (社大)
長嶺 秋夫 (自)	古 賢 (人民)
宮城 善兵衛 (自)	岸 本利彦 (社会)
大迫 国造 (自)	才島朝敏 (随行者)

GA-6

外務省

(注) 星 克 氏 上 京 中

目録が22日午後今日目録をとり、今日午後政治部へに送るべく、この日

琉球立法院議員団
陳情団
要請先
総理、外務大臣、大蔵大臣、農林大臣、参議院協賛、沖縄県知事

要請先

通達大臣、参事官、象参西派長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

97

大政事外外儀官

事務典房
次官
臣官官審審長長
儀総人電厚計
書文会議給

電信写

総番号(TA) 67837
71年 月 日 14時40分 沖繩 発着
71年 12月 23日 15時03分 本省

主管

外務大臣殿 吉岡 大使 臨時代理大使 総領事 代理

通貨の即時切り替えに関する立法院要請団

第1278号 平 至急

貴電経経合第8313号に関し

立法院は22日の臨時議会で「日米両政府はおきなわのドル通貨を1ドル対360円の交換比率で直ちに円通貨に切り換える措置を講ずべし」との日米両国関係当局に対する要請決議を全会一致で採択し、23日から27日まで星議長以下8名の議員を院代表として東京に派遣することを決定した。(決議文空送する。)

(了)

(年62治 23/12)

調査長 参企析調
領移長 参領旅査移
ア 参地中東
長 北東西
米 参北北保
中 参一二
南 参西東洋
番 西東
欧 西東
長 西東
近ア長 参近近ア
経 次総経国資
長 参貿統国
経協長 参政技一理
条 国
長 参政経科
国 参政経科
長 参社專
道 参道内外
文 参一二
長

外務省

秘 示 (朱印)
秘 無期限
部の内
号

あて先別

付属校査渡し

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	2		2
付 属	あり(その外)		

発送日 昭和46年12月24日
処理日
発信 12月 24日 校査

文書課長 公 信 案 (分類)

公 信 番 号 米北1 第 5340 号 公 信 昭 和 46年 12月 23日 日

大 臣	主 管	起 案 昭 和 46年 12月 22日
政 務 次 官	アメリカ局長	
事 務 次 官	参 事 (官)	
外務審議官	北米第一課長	起案者 電話番号 112中 2465
外務審議官		
官 房 長		

協 議 先

受 信 者 在 米 牛場大使(2-1) 外務大臣
沖繩復帰準備委 日米政府代表(2-2)

写 送 付 先 (希望発送日)

件 名 沖繩の通貨切替えに関する要請

GA-2 23 98 外務省 回覧番号

米北1合第5340号
昭和46年12月23日

外務大臣

(件名)

沖縄の通貨切換えに関する要請

引用公・電信
日付・番号

21日、琉球立法院議長以下6議員は本館を
来訪し本件要請を行なった。その際の記録
及び本件に関する大蔵省の検討振りに関する記録
各1部参考までに別添送付する。

在米：沖縄復帰前の通貨切換えに関する大蔵

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1

外務省

=極秘= 2

有の検討振りについては、その取扱に厳
に留意ありたい。

本信送付先 米、沖縄委、

GA-4

外務省

(※印は文書課記入)

極 秘
無 期 限
部 内 号

大臣秘書官
官房総務参事官
中北参事官
条約課長
北米オ二課長
安全保障課長

アメリカ局長
参事官
北米オ一課長

沖繩後帰前の通貨切替え

46.12.21
北米オ一課長

21日午後、標記の件に関する大蔵者の検討
ぶりにつき、同者前田審議官に照会せらる。先
方の述べたところ次のとおり。

1. 大蔵者は屋良主席の陳情の趣旨即ち1ドル
360円のレートによる後帰前の早期切替えにつき
検討したが、投機的資金の流入を防ぐため
の技術的な面の問題が多すぎて不可能である
との感触である。

GA-5

外務省

2. (当方より、星立法院議長の外務大臣に対する
陳情は必ずしも360円に固執するものでは
ないとの印象を受けたと述べたところ) それなら
ば308円のレート⁽¹⁾の検討をするよう担当者
(理財局宮崎固庫課長)に伝えることとし、
この場合、日本のちやんとした為替管理が
後帰前⁽²⁾にやれるかどうかポイントであらう。
何れにせよ、感触がわかり次第内報する。

3. (当方より、私見だが持米折衝は~~決り~~
もそう思うが、やはり大蔵者としては4月1日後
帰を目標に準備をせよとのえているので、それ以前
例えは1月末乃至2月始め⁽³⁾にやれるかどう
か甚だ疑問である。

GA-6

外務省

大臣秘書官 11
 官房総務参事官 12
 中江参事官 13
 条約課長 14
 北米オ二課長 15
 参事官 16
 全保障課長 17
 北米オ一課長 18
 アメリカ局長 19

外務大臣、立法院議員団の会談

46. 12. 21
 北米オ一課

21日午後、早琉球立法院議員団長以下立法院派遣議員団(氏名別添)は、大臣を来訪し、沖縄の通貨を至急円に替えてほしい旨の陳情を行なったが、右に對する大臣発言主要要次のとおり。

なお、先方によれば、立法院は本21日李野党一致して早期切替えに關する決議を採択し、近く代表団(李野党)を上京せしめる由。

1. 目下大蔵者において復帰前の通貨切替え

北米、沖、(三)

2

につき検討中であるが、技術的に多くの問題があるようだ。この件は村松上より(関係)

むしろ技術的の難点の方が主であるので、大蔵者とのウツと云えば自分(大臣)としては案側に申し入れてもよいと思つている。

2. レートが1ドル308円にまつたので、沖縄県民の「不安」は解消されて然るべきだが、新レートによる喪失感があることは理解される。

従つて気分的に早く一体化したい気持はわかる。

3. なお、復帰の際交換したとしても、米軍にはドルを使わせるので実質上兩建の如き状態ともなる。(当方千葉北米オ一課長同席)

在 北平 - 得 7

沖縄の通貨の即時切替えに関する要請派遣議員団氏名

本報
記者
氏名

団長	立法院議長	ほし 星	かつ 克 (自由民主党)
立法院議員	おお 大	た 田	しょう 昌
	みや 宮	ぎ 城	ぜん 番
	おお 大	はま 浜	くに 国
	なが 長	みね 嶺	あき 秋
	たい 平	ら 良	こう 幸
	ふるげ 古	げん 堅	さね 実
	きし 岸	もと 本	とし 利
			さね 実 (社会党)
随行者	立法院事務局	たけ 武	しま 嶋
			ちよう 朝
			びん 敏

沖縄の通貨の即時切替えに関する要請決議

〇

〇

〇

〇

決議第一号

沖繩の通貨の即時切替えに関する要請決議

本院は、去る八月二十四日沖繩の通貨の即時切替えが県民の切実な問題であるとして院議をもつて強く要請したのであるが、その実現を見ないままに政府は、十二月十九日円の切上げを一ドル対三〇八円の交換比率で決定し、翌二十日から直ちに実施した。

政府は、円の切上げによつて県民に不利益をあたえないと公約しながら、八月の変動相場移行以後すでに大きな不利益を与えてきた。今回の円の大幅切上げによつて県民は、またまた計り知ることのできない大きな損失を被ることになり、沖繩経済は壊滅的な危機に直面した。

このような日米両政府の県民を無視した措置に対し、県民は、大きな憤りと不満を表明せざるを得ない。

この問題の唯一の解決策は、通貨の即時切替え以外にはない。

よつて琉球政府立法院は、日米両政府が沖繩のドル通貨を一ドル対三六〇円の交換比率で直ちに円通貨に切り替える措置を講ずるよう院議をもつて強く要請する。

右決議する。

一九七一年十二月二十二日

琉球政府立法院

派遣議員団氏名

団長	立法院議長	ほし 星			かつ 克 (自由民主党)
	立法院議員	もり 盛	しま 島	めい 明	しゆう 秀 (")
	"	くわ 桑	え 江	ちよう 朝	こう 幸 (")
	"	たい 平	ら 良	かず 一	お 男 (")
	"	うえ 上	はら 原	じゆう 重	ぞう 蔵 (")
	"	うえ 上	え ず 江 洲	あん 安	けん 健 (")

随行者 立法院事務局

たま き けん ぞう
玉 城 健 三

- 大政事外外儀官
- 務務典房
- 次次
- 臣官官審審長長
- 儀儀人電厚計
- 書文会書給
- 調査長
- 領移長
- 領移長
- ア 参地中東
- 長 北東西
- 米北
- 中南
- 参一
- 参西東洋
- 長 西東
- 近ア長
- 参書近ア
- 経次総経国資源
- 長経協長条
- 参政技一理
- 国企二
- 参協規
- 長国
- 参政経科
- 長情
- 参道内外
- 文長
- 参一

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 67837
 71年 月 日 14時40分 沖繩 発着
 71年 12月 23日 15時03分 本省 北
 外務大臣殿 吉田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

通貨の即時切り替えに関する立法院要請団

第1278号 平 至急

貴電経経合第8313号に関し

立法院は22日の臨時議会で「日米両政府はおきなわのドル通貨を1ドル対360円の交換比率で直ちに円通貨に切り換える措置を講ずべし」との日米両国関係当局に対する要請決議を全会一致で採択し、23日から27日まで星議長以下8名の議員を院代表として東京に派遣することを決定した。(決議文空送する。)

(了)

(早急消 23/12)

外務省

大臣秘書官

官房総務参事

中江

官房書記官

条約課長

北米才二課長

安全保障課長

アメリカ局長

参事官

北米才一課長

外務大臣の琉球立法院議員団の会見

46.12.24
北米才一課

24日午後12時40分 福田外務大臣は沖繩の通貨の即時切替えに関する琉球立法院派議員団(氏名別添1参照)と会談した。3.先方より大臣に対し別添2の本体に関する立法院の要請決議を手交した。

その際大臣より、大蔵省において後帰前の308円レートによる切替えにつき技術的な検討を行なっているが、これが早急なうちに米側との話しあいに入れない旨述べた。

(当方 千葉北米才一課長同席)

G A 6

3282

外務省

沖縄の通貨の即時切替えに関する要請派遣議員団氏名

団長	立法院議長	ほし 星		かつ 克 (自由民主党)	
	立法院議員	おお 大	た 田	しよう 昌	ち 知 (")
		みや 宮	ぎ 城	ぜん 呑	べい 兵 (")
		おお 大	はま 浜	くに 園	ひろ 浩 (")
		なが 長	みね 嶺	あき 秋	お 夫 (")
		たい 平	ら 良	こう 幸	いち 市 (社大党)
		ふるげ 古	げん 堅	さね 実	よし 吉 (人民党)
		きし 岸	もと 本	とし 利	さね 実 (社会党)
随行者	立法院事務局	たけ 武	しま 嶋	ちよう 朝	びん 敏

沖縄の通貨の即時切替えに関する要請決議

○

○

○

○

決議第一号

沖繩の通貨の即時切替えに関する要請決議

本院は、去る八月二十四日沖繩の通貨の即時切替えが県民の切実な問題であるとして院議をもつて強く要請したのであるが、その実現を見ないままに政府は、十二月十九日円の切上げを一ドル対三〇八円の交換比率で決定し、翌二十日から直ちに実施した。

政府は、円の切上げによつて県民に不利益をあたえないと公約しながら、八月の変動相場制移行以後すでに大きな不利益を与えてきた。今回の円の大幅切上げによつて県民は、またまた計り知ることのできない大きな損失を被ることになり、沖繩経済は壊滅的な危機に直面した。

このような日米両政府の県民を無視した措置に対し、県民は、大きな憤りと不満を表明せざるを得ない。

この問題の唯一の解決策は、通貨の即時切替え以外にはない。
よつて琉球政府立法院は、日米両政府が沖繩のドル通貨を一ドル対三六〇円の交換比率で直ちに円通貨に切り替える措置を講ずるよう院議をもつて強く要請する。
右決議する。

一九七一年十二月二十二日

琉球政府立法院



アメリカ局長
参事官
北米才一課長

北米才一課長

謹啓 迎春の候貴殿には益々御健勝の御事と御慶び申し上げます。
去る十二月中旬沖繩返還協定と国内関係法の早期成立のため並びに弗の日円への早期切
り替えにつきまして要請に参りました節は、連日夜間まで国会審議がなされた頃で、時節
柄大層御繁忙中にもかかわらず、御懇篤なる御高配を賜わり、お蔭様で、沖繩県民の
要望を十分に要請することができました。衷心より厚く御礼申し上げます。
何卒、今後とも御支援を賜りますようお願い申し上げます。
右帰任御挨拶と御礼を申し上げます、貴殿の御健康と御発展を御祈り致します。
昭和四十六年十二月二十八日 敬具

福田赴夫 殿

北米才一課長

要処理
首席事務官
総務課長
渉外課長
漁業課長
航空課長
科学協力課長
連絡調整課長
力ナダ局

琉球政府立法院派遣議員団
団長 立法院議長 星 克
議員 盛 島 明 秀 克
議員 桑 江 朝 幸
議員 上 原 重 藏
議員 平 良 一
議員 上 江 洲 安 徳

アメリカ局長
47.1.12

アメリカ局長
参事官
北米才一課長

北米才一課長

謹啓 厳寒のみぎり貴下益々御健勝の段お慶び申し上げます。
さて、沖繩の通貨の即時切替えに関する要請のため、過日上京いたしました際は、御多
心の折特別の御高配を賜わり、親しく沖繩の事情について御懇談の機会を得ましたことは、
私ども派遣議員団一行衷心より感謝申し上げます。
今や通貨及び経済問題は、沖繩全住民の最大の関心事でありまして、不安と焦躁の中
に追いつて深刻の度を深めつつあります。
何卒この苦しい立場に深い御理解を賜わり、一日も早くよき御通知に接することを心か
ら期待致しております。
取り急ぎ御地訪問の際の御厚意を謝し、時節柄益々御自愛の程お祈り申し上げます。
昭和四十七年一月七日 敬 白

外務大臣
福田赴夫 殿

沖繩の通貨の即時切替えに関する要請派遣議員団
団長 立法院議長 星 克 立法院議員 古堅実吉
立法院議員 大田昌知 立法院議員 岸本利実
立法院議員 宮城善兵衛
立法院議員 大浜国浩 随行者 立法院事務局 武嶋朝敏
立法院議員 長嶺秋夫
立法院議員 平良幸市

要処理
首席事務官
総務課長
渉外課長
漁業課長
航空課長
科学協力課長
連絡調整課長
力ナダ局

アメリカ局長
47.1.12